

この度は、アルミック メダスをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この施工説明書及び、取り扱い説明書をすべてお読みいただき、末永くご愛用ください。お読みになった後は、紛失されませんよう保管して下さい。

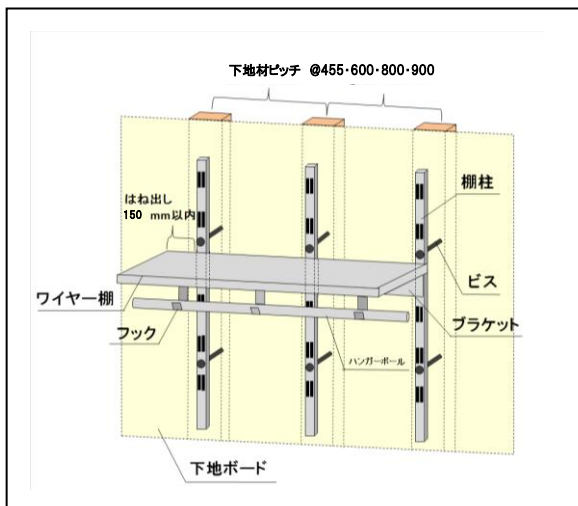


使用上のご注意 (これらの注意を守らなければ人がケガをしたり、物的な損害が発生する可能性があります)

- ・ 下地のないところに棚柱を取り付けると重さで壁ごとにはがれ落ちる可能性がありますので必ず下地のある場所に棚柱を施工して下さい。
- ・ ビスは棚柱のすべての穴に打ちつけ、ビスが緩んだままの使用はしないで下さい。
- ・ ワイヤー棚を取り付ける際に、指をはさまない様に注意して下さい。
- ・ ワイヤー棚の上にお子様などが乗らない様に注意して下さい。
- ・ 耐荷重以上の重量物を乗せるとブラケットや棚の変形及び棚柱の脱落が起こる可能性がありますので注意して下さい。

施工方法

■下地材について



- ① 柱、間柱を下地材としてピッチをご確認の上、ご計画下さい。
- ② ピッチが間に合わない場合は、幅 30mm 以上の木下地を柱又は、間柱に緊結しお使い下さい。
- ③ 横架材と床下地に留め付けた下地でも可能です。

※リフォームでお使いの場合、上記同様下地が必要となります。



製品上のご注意

この商品はスチール製の為、塗装がはげたり長期間ご使用した場合はサビが生じることがございますのでご了承ください。

■メダスの取り付けについて

<柱の設置>

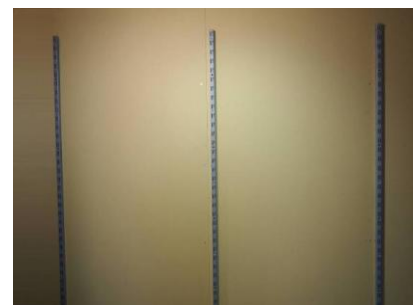
- ・ 柱の取り付け・位置出しは、柱芯で取り付ける棚幅も考慮しつつ寸法を決めて下さい。
- ・ 上記下地材のある位置に合わせ、柱を垂直・水平に注意し取り付けして下さい(水平器などでご確認ください)。(図1)
※その際に 57mm 以上のビスを使い、すべてのビス穴に取り付けビスを打ち込んで下さい。(図2)
- ・ 棚の幅に合わせ柱芯のピッチを決めつけて下さい。
(棚のサイズにより製品企画寸法より 5mm 程度調整が必要となる場合がございます)
- ・ ビス穴がある部分にはすべてビスを打ち込んで下さい。



(図1)



(図2)



(図3)

<ブラケットの設置>

手順① 棚を設置したい高さの溝にブラケットの上部の爪を引っ掛けます。

手順② ブラケット下部の爪を溝にはめ、そのままブラケットを下に下げます。



手順①



手順②



<ポールの取り付け>

・ポールを取り付ける場合は、棚を取り付ける前にブラケット中心部にポール用フックを取り付けて下さい。

・ブラケットのたて溝にハンガーポール用フックを取り付けます。(図4)

・ブラケット一つに取り付けることのできるフックは1つです。

・ポールを繋げて付ける場合は、中心のブラケットのフックにポールを半分ずつのせ、カチッという音がするまではめ込んで下さい。(図5)



(図4)



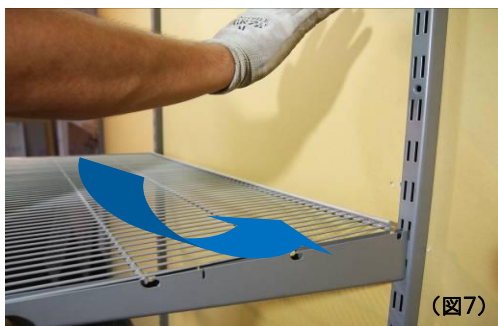
(図5)

<棚の設置>



(図6)

・ブラケットの3つの溝に棚のワイヤー部分を合わせます。(図6)



(図7)

・はめ込む際はワイヤー棚を手前から奥に向かってスライドさせるように叩くことで、ワイヤー棚がブラケットにはまります。(図7)

・施工の際は、ゴム手袋や軍手を付けて叩くことをお勧めします。

・ゴムハンマーなどがあると便利です。

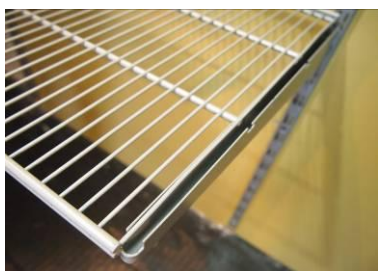
・安全のためブラケットの溝に棚の横ワイヤーをしっかりとめ込んで下さい。

・ワイヤー棚を2つ設置する場合、中間にくるブラケットはひとつになります。

ブラケットに半分ずつ棚をはめ込んで下さい。(図9)

・棚の柱からはね出しは、150mm 以内にして下さい。

・高い位置に棚を設置する場合は低い位置でブラケットに取り付けてからブラケットごと高い位置まで持っていくと施工が簡単です。



(図8)



(図9)



(図10)